

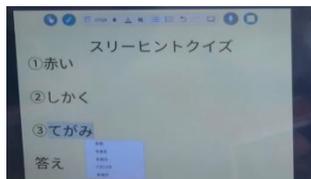
# ICT教育通信

令和5年9月28日  
第3号 小郡市教育委員会

9月26日(火)味坂小学校の学校訪問に、市議会総務文教常任委員の6名の皆さんが小郡市のICT教育の実態を視察に来られました。ICTを活用する目的を明確にして授業に取り入れているため、「主体的・対話的で深い学び」が実現されている姿を参観することができました。また、アナログとデジタルのメリットを生かし、発達段階に応じて計画的に両者を融合した学習に取り組んでいました。

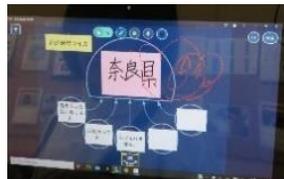
## なかよし1(自立活動)「【聞く】活動」 授業者 田中 秀典 先生

かるたゲーム、3ヒントゲームなどを通して聞く力を身につける学習をしました。問題をゲームにすることで意欲的に活動することができました。



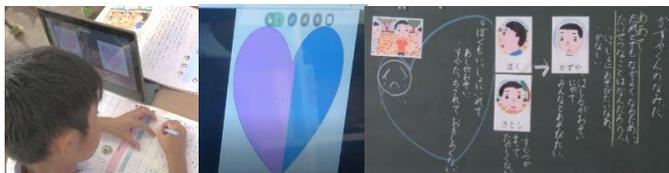
## なかよし2(国語)「カンジーはかせの都道府県の旅2」 授業者 森 尚子 先生

クラゲチャートを活用して、都道府県クイズを作成し、お互いに解き合う活動をしました。4年生と資料を共有することで、一緒に活動しました。



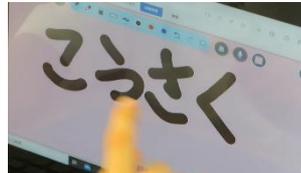
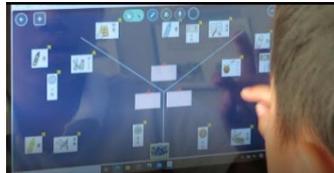
## 1年生(道徳)「かずやくんのなみだ」 授業者 太田 康博 先生

仲間外れをされた「かずやさん」が流す涙を見た「ぼく」が考えたことをノートにまとめたり、心の様子をハート図で視覚化したりしました。



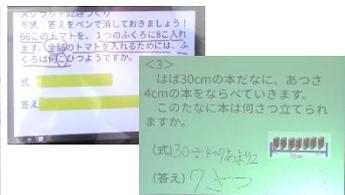
## 2年生(国語)「なかまのことばとかん字」 授業者 重松 賢司 先生

さまざまな言葉を「文房具」「お金」などと仲間分けするために、Yチャートを活用して分類したり、グループの名前を設定したりしました。



## 3年生(算数)「あまりのあるわり算」 授業者 伊藤 成海 先生・渡邊 秀美 先生

余りが出る割り算の答え方を、ロイロノートを活用して共有しました。チャレンジ問題を資料箱に3問準備し、自分で選んで解いていました。



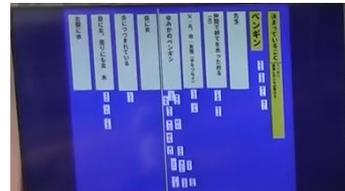
## 4年生(国語)「カンジーはかせの都道府県の旅2」 授業者 原口 美晴 先生

ヒントから見つけた県名の漢字は、「止め」「はね」「はらい」に気を付けて手書きし、問題はタイピングで入力しました。



## 5年生(学活)「運動会に向けて学級旗を作ろう」 授業者 竹ノ上 隆成 先生

学級旗のデザインをみんなで決める学級活動の授業でした。共有ノートを活用し、子どもの意見をリアルタイムで反映させたり、意思表示を共有したりすることで、近くの友達と自然と交流が生まれ、自分の考えをタブレットを使って説明するなど、活発な話し合い活動が行われていました。



※6年生は学級閉鎖のため授業公開ができませんでした。

# 令和5年度味坂小学校のICT教育の推進（主題研修）について

## 研究主題

「分かった・もっと」を実感する子どもを育てる学習指導  
～ICTを活用して自分の考えをよりよくする学習過程をとおして～

## ICT機器の効果的な活用の仕方の工夫

### 興味関心を高める

- 前時までの振り返り
- アンケートの結果や実態の定時
- 問題の提示

### 課題を明確につかむ

- モデルの提示
- 資料（ヒントカード）の配布
- 情報の収集・整理

### 思考や理解を深める

- 交流活動
- 考えの共有・比較・考察



### 知識の定着を図る

- 表現活動・発信
- タブレットドリルを使った学習の定着

【導入期間】  
お楽しみけんがよりまいます。  
このけんをまいて、くじびきが1回できます。  
全部できじきを1回利用することができますか。  
<答>



## ICT活用の価値に関する味坂小学校の先生方の受け止め

- タブレットを活用することで、板書を写す時間や自分の考えを書く時間が格段に速くなり、空いた時間をお互いの考えを見たり、聞いたりする交流の時間に充てることができるようになった。
- リアルタイムで友達の意見を共有することができるので、自然発生的に交流が生まれたり、話し合いの必然性が子どもたちの中に生まれたりしている。このことが、学習意欲につながり、主体的な学びを実現できている。
- ICTは個別最適な学びにも有効で、読むことや聞くことが苦手な子どもにとって、手元でポイントを見ることができたり、その子に合った教材を資料箱に準備しておくことで、自由に使ったりすることができている。また、特別支援教室とオンラインでつないで同じ学習を行うことで、支援が必要な子も明るい表情で自信をもって授業に参加できるようになっている。

## 市議会総務文教常任委員会による味坂小「ICT教育」視察の様子



タブレットを活用し話し合う5年生



学習の様子を参観する議員さん方



学校・市教委・議員さん方との協議

## 協議で出された総務文教常任委員さん方からの主なご意見・ご感想（要旨）

- 子ども達のタイピングは大人よりも早く、タブレットを使ったすばらしい学習の様子を見せて頂くことが出来た。ローマ字入力が鍛えられているのは大切なことだと思う。
- 特別支援学級の2名の子どもと通常の学級で学ぶ4年生の子ども達とをオンラインでつないだ学習を見た。県名クイズを楽しく出し合う交流があり、双方の子どもたちが学ぶ意欲を高めていた。
- 共同編集機能で各自の考えが視覚化される学級活動は画期的な授業だと感じた。
- 味坂小の先生方が、小郡市内の他の学校にICT教育を広げ浸透させる働きをされていることがわかった。ICT支援員の活用等により活用の学校差を縮めないといけない。
- 教室の後ろ壁に一人ひとりのポストが設けられており、手書きで書かれた温かな手紙のやりとりが行われていた。ICTとアナログのよさがバランスよく大切にされている。
- 今後、デジタルで学校間のやりとりできる環境が望ましい。タブレット機器の更新や補充、タッチペンの補充、ICT支援員の配置等、予算要求して進めてもらいたい。

### <総務文教常任委員会 お礼の言葉（要旨）>

子ども達の様子を実際に視察し、こんなにICT教育が進んでいることに驚きました。以前に他県に視察に行った際、小郡市は遅れているという印象を受けたことがあったが、今日の子供たちの学習の様子を見て、現在は、小郡の方が先を行っていると感じました。今後、機器の更新を含め環境の整備を行い、しっかりと進めてもらいたいと思います。